

## 全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和７年度）

全国・福島県・市内中学３年生の平均正答率（％）・IRT スコア

国語・算数（平均正答数/設問数）

理科（IRT スコア 各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し５００を基準とした得点）

	国 語	数 学	理 科
全 国	５４．３	４８．３	５０３
福島県	５３	４５	４９６
南相馬市	５３	４３	４８５

## 南相馬市立原町第三中学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実施日 令和７年 ４月１７日（木）本体調査
- 2 調査対象 第３学年生徒（２０名）
- 3 調査内容 （１）教科に関する調査（国語、数学、理科）理科 CBT 調査  
（２）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

### 4 調査結果

#### （１）教科に関する調査

##### ・国 語

今回の全国学力・学習状況調査の国語の結果では、県平均、全国平均をともに上回った。特に、全国平均と比較すると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の知識・技能での正答率が高かった。また、問題形式に関わらず無回答率が低い傾向にあり、粘り強く取り組む姿勢がうかがえた。一方、全国平均と比べて「自分の考えやその理由を書く」問題は正答率が低く、無回答率も高かった。

##### ・数 学

今回の全国学力・学習状況調査の数学の結果では、本校の平均は県や全国と比較すると、「Ａ数と式」の分野においては、一定の成果が見られた。一方、特に「Ｂ 図形」の分野においては、正答率が低く、数学的活動を通して基本的な図形の性質や条件について理解を深めることが必須であると感じた。また、記述式の証明や説明に関する問題において、無回答率が県や全国よりも高かった。

##### ・理 科

今回の全国学力・学習状況調査の理科の結果を、それぞれの問題の県や全国の平均正答率と比較すると、知識・技能が身についているか確かめる問題については、県や全国と同等またはやや上回るものも多かった。また、全体的に無回答率は全国平均よりも低かった。一方、共通点を比較したり、身近な生活との関連などに着目したりしながら多面的に分析する問題については低い傾向が見られた。

## (2) 生徒質問調査

### ・成果が見られた項目

- ①毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ②人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ③1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

### ・課題が見られた項目

- ❶自分には、よいところがあると思いますか。
- ❷道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- ❸理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか

## 5 学力向上の取り組み

今回の調査の結果、生活習慣や協調性に成果が見られた。また、ICT機器を使いこなすことができていると感じている生徒も多かった。しかし、学んだことを生活の中で活かそうとしたり、自分の考えを深めようとしたりする生徒が多いとは言えないことから、どのように学びを深めていくかが今後の課題である。

### (1) ICT を活用した発表・表現活動の充実

- ・プレゼンテーションやレポート作成など、ICTを使って自分の考えを他者に論理的に伝える機会を増やし、表現力を高める練習を重ねます。
- ・授業の終わりには、学習の「振り返り」として、「学習の成果」や「解決までの過程」を自分の言葉で記述するなど、生徒が自信を持って書く力を養います。

### (2) 探究活動の深化と知識を生活へ応用する力の育成

- ・実験や観察を「結果の確認」で終わらず、「なぜこの結果になったのか」「自分の予想とどう違うのか」を言葉や図で説明する活動を取り切れ、深い理解を促します。
- ・わからない部分を抱えたままにしないよう、学び直しや追加説明の場を設け、理解を確実なものにします。これにより「分かった」「できた」という成功体験を積み重ね、各教科への得意意識と活用意識を育てます。

## 6 保護者・地域の皆様へ

### (1) 日頃より、生活習慣・学習習慣づくりにご協力いただきまして誠にありがとうございます。

本校の生徒はICT機器の操作に自信を持っています。ご家庭でも、お子様がICTやメディアを学習と息抜きにメリハリをつけて活用できるよう、利用時間やルールについてお子さんと一緒に確認し、見守っていただければ幸いです。

### (2) 生徒たちは夢や目標を心に抱いています。日々の会話の中で、お子様の「将来どうなりたいか」「どんなことに興味があるか」に耳を傾け、前向きなメッセージを伝えていただければ、自己肯定感を育む大きな力になります。

### (3) 地域の皆様には、今後も学校行事や体験的な学習を通して、生徒たちが地域の中で様々なことを学び、健やかに成長していけるよう温かく見守っていただければ幸いです。